

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

対象事業所：にじいる保育園サクセス久里浜コスモス  
事業者：株式会社 サクセスアカデミー

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4 ページ
分類・項目別評価結果	5～12 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	13～19 ページ
利用者本人調査分析	20 ページ
事業者意見	22 ページ

2006年4月17日 公表

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	にじいろ保育園サクセス久里浜コスモス		
報告書作成日	2006年3月22日	評価に要した期間	約3ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

## 評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:2005年11月14日 ~2006年1月10日</p>	<p>本部（本社保育部）は、2005年6月から受審準備を開始。保育園の常勤職員には職員会議で説明、非常勤職員には園長が個別に説明し、各自が記入。</p> <p>評価領域 ~ は全職員が記入。その後、クラスリーダーが担当クラスの分を集約。</p> <p>各クラス分を持ち寄り、評価領域 ~ は、園長、本部及び各クラスリーダーで協議・議論しながら集約。評価領域 と は、本部内で協議、その後園長を加えて協議・集約。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:2005年11月12日~12月23日</p>	<p>全利用者の保護者60名に対して、保育参観で園長が説明し、その後の個別面談で各担当が手渡し。保育参観欠席の保護者には、園長が一人ひとり説明して手渡し。</p> <p>同封の返送用封筒にて、評価機関宛匿名で返送。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 2006年1月24日 第2日 2006年2月2日</p>	<p>第1日は、午前中保育参観。昼食は子どもと一緒に。午後は、書類調査、利用者本人調査、園長・本部担当社員への事業者聞き取り調査を実施。</p> <p>第2日は、午前中は保育参観と園長・本部担当社員への事業者面接調査。昼食は子どもと一緒に。午後は栄養士・保育士、引き続き園長・本部担当社員への事業者聞き取り調査を実施。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 2006年1月24日 第2日 2006年2月2日</p>	<p>参観調査は、第1日は0~5歳児の各保育室、誕生会で実施。第2日は幼児クラス（3~5歳の異年齢児）の散歩に同行。</p> <p>聞き取り調査は、満5、6歳児9名を2グループに分けてホールで実施。</p>

## 総合評価（評価結果についての講評）

にじいる保育園サクセス久里浜コスモスは、京急久里浜駅前商店街のビルの4階に2004年4月開園の、2年目の保育園です。定員は60名で、0・1歳児、1・2歳児、3・4・5歳児(2クラス)の異年齢による4クラス編成です。周囲には八百屋、魚屋、菓屋等の昔ながらの商店が並んでいます。運営するのは、病院内保育室・事業所内保育施設等も運営する(株)サクセスアカデミーです。

### 高く評価できる点

#### 1、本部の強力なバックアップ体制による園運営の充実

本部主導で作成された各種マニュアル等が充実しています。職員は、本部スタッフのバックアップのもと、子どもの健やかな心身の成長を図るためにそれらに沿った保育を実践するよう努めています。マニュアルの他にも、プライバシーポリシー（守秘義務や個人情報の取り扱い）、個人面談マニュアル、ヒヤリハット報告書、インシデントレポート等があります。

プライバシーポリシーは、保護者と職員がいつでも目にするのできる玄関近くの壁面に掲示されています。個人面談では、個人面談マニュアルにより担当職員間で事前準備を行い、より良い個人面談ができるように取り組んでいます。ヒヤリハット報告書には、些細なケガについても記入し、職員掲示板に掲示して職員間で共有しています。また、系列園での事故等は、インシデントレポートとして本部から速やかに連絡を受け、職員間で共有して事故防止に役立てています。

情報の発信についても、保育園で作成され保護者に配布されている園だよりの他に、運営会社のホームページがあり、本部により随時更新され最新の情報が提供されています。

事業の中長期的な展望は、他の系列保育園と共に本部の事業計画の中に位置付けられており、現場職員は、日々の保育に専念できる体制がとられています。

#### 2、研修体制の充実と職員のモチベーションの高さ

本部作成の研修計画に基づき、計画的に研修が行われています。新人職員には新人職員研修とフォローアップ研修が、現任職員には、現任職員研修が年間10回行われ、対象は非常勤職員も含めた全職員です。研修参加後はアンケートをとり、次回の研修内容等に活かしています。

系列保育園との合同で行う保育環境研究会があります。メンバーは本部の保育園環境担当者と系列保育園の担当職員1名で、他園の見学や検討会を実施する等、園内環境の充実に向けた取り組みを行っています。担当者は自分の園に戻り、保育室の環境改善に日々積極的に取り組んでいます。

園は、県や市主催の研修会への参加も積極的に勧めています。受講後は報告書を作成・回覧し、職員会議で実演や説明を行う等、研修内容の共有化を図っています。

職員は、本部主導の研修はもちろんのこと、その他の研修でも、自分が受講したいものがあればすすんで参加して知識を吸収し、その学びを日々の保育に即活かそうとする姿勢が見られます。

## 独自に取り組んでいる点

### 1、171 災害用伝言ダイヤルによる訓練の導入

171 災害伝言ダイヤルを利用して、災害時にすみやかに保護者へ連絡を取ることができるよう、実際にその訓練を行いました。ほとんどの保護者が訓練に参加しその機能を体験することができました。このような訓練を通して地震対策を考える良い機会になり、安全確認の上からも先取的な取り組みといえます。

### 2、インターネットカメラの導入

園長をはじめ職員全員が、日々の保育において誠意を持って様々な家庭環境の子どもたちに向き合った保育を心がけ、働く保護者が安心して子どもを預けて仕事ができるように様々な工夫をしています。その一つとして、保護者がパソコン上で、家族と離れている間の子どもの様子をいつでも見ることができるインターネットカメラの導入があります。利用を希望する保護者は利用規約を承諾した後、ID・パスワードの発行を受けて利用するなど、安全面の配慮もなされています。

## 改善や工夫が望まれる点

### 1、健康増進と社会性を育む保育の充実を

園は、駅前と言う立地のよい場所にありますが、ビルの4階で園庭がありません。成長著しい時期の子どもたちにとりエネルギーの発散できる場所は、散歩や公園での自由遊びぐらいです。室内遊びだけの日は、特に幼児クラスでは、小さなけんかやもめごとが頻発することにもなります。室内でもできる運動やみんなで楽しむリズム遊び等を積極的に導入するなど、子ども一人ひとりの健康増進に取り組む工夫が望まれます。

また、保育園という集団の中でこそ身に付く社会性の育みについても、日々の保育の中で取り込まれることで、より充実した保育が展開されるものと思われます。例えば、子ども同士が積極的に関わり合うことで楽しみが増す遊びや、協力して行うことでよりダイナミックな展開ができる製作など、また、栽培する・作る・食べる等を通して食を身近に感じ、感謝の気持ちやマナー等も育む食育活動などがあります。今後はぜひ、そのような活動を日常の保育活動にさらに取り入れられ、園の保育方針である子ども一人ひとりの個性の尊重と伸展が図られますように望みます。

### 2、保育園の専門性を活かした子育て支援の取り組みを

保育園の機能の一つとして、その専門性を活かした子育て支援の取り組みが求められています。例えば、地域で子育てをする親の育児相談に応ずる、一時保育を実施する、などがあります。当園は開設2年目であり、これまでは基盤整備の時期でしたが、今後は、地域における重要な社会資源の一つとして、地域で子育てをする親をはじめ、地域住民と共に育ち合う関係を作り、子育てに関する知識や知恵を広め援助する場として、幅広く発展されることを望みます。

当評価機関では、「障害」を「障がい」と表記します。

## 評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

### 1．人権への配慮

- ◇ 個人情報の取り扱い等について書かれたプライバシーポリシーを全職員に配布しており、職員は理解しています。「子どもの人権を否定する言葉集」があり、保育士は、子どもへの声掛けにおいても人権に配慮しています。
- ◇ 子どもの姿を広報に使用する際には、映像使用許諾書で保護者に事前に確認しています。
- ◇ 虐待が疑われる場合には、各機関と連携を取り合いネットワークミーティングを開催して問題を討議し、継続して見守る体制がとられています。

### 2．利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援

- ◇ 保育理念や基本方針は、子どもの個性を尊重し自主性・主体性を育むものとなっています。園内には子どもの個性を尊重するという理念に基づいたにじいろを象徴するデザインが各所に取り入れられています。
- ◇ 保護者へのアンケートを実施してニーズをくみ取り、職員間でその情報を共有して日常の保育の向上に努め、さらには指導計画作成時の参考にしています。

### 3．サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 保育の現場の意見も盛り込みながら、本部主導で作成された各種マニュアルが充実しています。保育士はマニュアルに沿って保育サービスを提供しています。
- ◇ 園長をはじめ職員全員が、日々の保育において誠意を持って様々な家庭環境の子どもたちに向き合った保育を実施し、働く保護者が安心して子どもを預けて仕事ができるように心がけています。
- ◇ 系列園と合同実施の保育環境研究会では、子どもたちが長時間滞在する保育園環境の充実に向けて取り組んでいます。

### 4．地域との交流・連携

- ◇ 子どもたちは、日々行われている散歩を通して商店街の人々と日常的に交流しています。
- ◇ 商店会の掲示板等で未就園児の運動会への参加を呼びかけ、保護者に保育園の雰囲気を知ってもらうとともに顔の見える関係作りを心がけています。
- ◇ 園は地元商店会に加入し、園長は商店会の会合に出席しています。
- ◇ 地元中学校の職業体験実習の受け入れを行っています。

### 5．運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 基本理念は、玄関壁面と職員掲示板に掲示され職員に周知されています。
- ◇ 中長期事業計画書は本部主導で作成されています。次代の組織運営に備えた仕組みや実務ノウハウ等、次世代人材育成が考慮されています。さらに外部の専門家や業務提携先からの意見も取り入れています。
- ◇ 運営会社のホームページ上で、保育園運営の理念や方針等について丁寧に紹介しています。

### 6．職員の資質向上の促進

- ◇ 本部による研修計画があります。新人職員研修とそのフォローアップ研修、及び現任職員研修が計画され、正規職員・非常勤職員を問わず積極的に参加しています。実施後は、アンケートをとり次回の研修内容等に活かされています。
- ◇ 外部研修としては、県や市主催の各種研修に、希望者を募って受講を勧めています。職員は、受講後報告書を作成・回覧して研修内容を共有し、職員会議で説明や実演を行って実践につなげています。
- ◇ 職員は年1回、目標の設定や達成度の自己評価、課題の設定、技術・スキルの向上の自己評価、今後の希望などをステップアップシートに記入、提出しています。これらを通して自らを振り返りさらなる資質向上に役立たせています。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/fukushi/hyouka/index.html#qg> を参照してください。









「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある




評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。




### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重


評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念や基本方針は、運営法人として統一して作成されたものを使用しています。</li> <li>・ 保育理念や基本方針は、子どもの個性を尊重し自主性・主体性を育むものとなっています。園舎内には、子どもの個性を尊重するという理念に基づいたにじいろを象徴するデザインが各所に取り入れられており、職員はそれらを日常的に目にし理念や方針を再確認することができます。</li> <li>・ 保育計画は、地域の実状や家庭の状況を考慮して作成されており、柔軟に対応するように心がけています。</li> </ul>
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園前の面接を通して、子どもの発達状況や課題を把握するようにしており、入園時の面接記録をとっています。</li> <li>・ 入園時には、保護者へ家庭状況表、健康診断表、健康の記録、勤務状況表、通院時対応票の提出を求め、子ども本人と家庭の状況を把握して、より良い保育の実践につないでいます。</li> <li>・ 新入園児の受け入れについては、ならし保育を行い、無理のない通園が行えるようにしています。</li> <li>・ 保護者へのアンケートを実施してニーズをくみ取り、職員間でその情報を共有して日常の保育の向上に努め、さらには指導計画作成時の参考にしています。</li> </ul>
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設・設備の衛生管理マニュアルに基づいて、保育室、おもちゃ、調乳室、トイレ、手洗い場の清掃が実施されています。</li> <li>・ 清掃は、当番表を作成し、職員全員で行っています。</li> <li>・ 園舎はビルの4階にあり、どの部屋も日当たりが良く明るい保育室です。窓を開けて空気の入替えをたびたび行い、乾燥する時期には加湿器を使用するなど、気持ちの良い保育環境づくりを心がけています。</li> <li>・ 本部の保育園環境担当者と系列各園1名の担当職員で保育園環境研究会を構成し、他園の見学や検討会を実施して園の環境改善に努めています。</li> <li>・ 保育室は広くはありませんが、棚やカーペットを利用して遊びのコーナーを工夫し、子どもたちが自由に遊ぶことのできる空間を提供しています。</li> </ul>

<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 0、1歳児は一人ひとりの発達に応じた個別指導計画が作成されています。また、特別な配慮が必要な幼児についても個別指導計画が作成されています。</li> <li>・ 個別の状況は、入園時保育資料(家庭状況表、健康診断表、健康の記録、勤務状況表、通院時対応票)に記載されており、必要に応じて職員は閲覧することができます。</li> <li>・ 園児一人ひとりの心身の発達記録があります。0、1歳児は週ごとに記入され、2～5歳児は月ごとに記入されています。個人面談や育児相談の記録は、各々ファイルされています。</li> </ul>
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい児の受け入れを随時行っており、職員は研修を受けて配慮の必要な子どもの理解と支援についての知識を習得し、職員間で情報を共有しています。</li> <li>・ ネットワークミーティング(民生委員、小学校、児童相談所、市生活福祉課保健師、子育て支援課ワーカー、こども虐待予防相談センター等がメンバー)で、個別案件について参加者で検討し、さらに継続して支援する仕組みがあります。</li> <li>・ 障がい児と健常児が、できるだけ同じ経験ができるように保育士は配慮しています。</li> <li>・ 職員は、アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができるように研修を受けています。また、栄養士とは、連携をとりながら適切な対応がとれるような仕組みがあります。</li> <li>・ 外国籍の子どもや帰国子女の子どもに対する適切な配慮については、保護者との間での意思疎通のために英語翻訳パソコンソフトを導入するなどの努力をしています。また、横須賀市とは、担当職員の通訳を依頼するという連携も図られています。</li> <li>・ 文化や習慣の違いを尊重し、宗教上の理由で食べられない食物がある場合には、除去食・代替食等を提供しており、その場合には他の子どもとの差異がでないように留意しています。</li> </ul>
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦情受付担当は園長(現在、主任業務を兼任)です。玄関入り口の壁面に「相談・苦情等受付表」が掲示しており、いつでも保護者は見ることができます。相談・苦情受付表には保育園と横須賀市の相談受付担当者の連絡先が書かれています。</li> <li>・ 玄関には「めやす箱」が置かれ相談等をいつでも受け付けています。但し、これまでに利用されたことはありません。</li> <li>・ 管理マニュアルとして「苦情等解決システム実施要領」があり、職員は研修を通して理解しています。また、職員掲示板に必要に応じて注意事項等を掲示して、全ての職員に周知できるようになっています。</li> <li>・ 第三者委員は、「苦情等解決システム実施要領」に位置づけられており、現在選考中です。</li> </ul>



評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育室は遊びのコーナーが子どもの目線にあわせて作られており、子どもたちが思い思いに遊んでいます。</li> <li>・ クラス編成は、だいち(0、1歳)、ふたば(1、2歳)、うみ・そら(3、4、5歳)の4クラスで構成されています。うみ・そらは、年齢別に活動することもあります、異年齢クラス編成での体験を重視しています。</li> <li>・ 保育室は、広くはありませんが、遊びのコーナー(ままごと、絵本、ブロック、お絵かき、電車遊び等)を工夫し、子どもたちが自由に遊びこめる空間を作っています。</li> <li>・ 園庭がないので、できるだけ散歩に出るように心がけています。しかし、天候等により戸外への散歩ができない場合があります。小さなけんかやもめごとが頻発している実状もありますので、室内でも身体を動かすことのできる運動等をできるだけ取り入れ、子どもたちのエネルギーが発散されるような取り組みが望まれます。</li> <li>・ 動植物の飼育や栽培体験がやや少ないようですので、職員の知恵を出し合い、子どもたちがその年齢で味わうことができる大切な体験ができるような取り組みを工夫し、実施されることが望まれます。</li> </ul>
<p>- 1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 午睡をする部屋はカーテン等を引いて暗くし、静かな曲を流し、眠りやすい状況が作られています。</li> <li>・ 乳児はうつぶせ寝を避け、保育士は15分毎に呼吸をチェックし記録をとっています。</li> <li>・ 5歳児は午睡をせず、その時間は好きな遊びを楽しんでいます。3、4歳児でもその子どもの状況により、午睡をしない場合があります。</li> <li>・ 排泄チェック表はありませんが、担当保育士が把握しており、その子のリズムに合わせ無理のない排泄を心がけています。</li> <li>・ 給食は業者に委託しており、派遣された栄養士が園に常駐して調理をしています。</li> <li>・ 毎月1回給食会議を実施し、栄養士、保育士(各クラスから1名)が参加して子どもの食事量や好き嫌いについて報告しあい、その後の献立作成に活かしています。また、給食便りや献立表を作成して保護者へ配布しています。</li> <li>・ 栄養士は、子どもたちの食事の様子を見ていません。今後はできるだけ子どもたちの食事の様子を見る等して、今後の調理や食育活動に活かされることが望まれます。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康管理に関するマニュアルがあり、マニュアルに基づいて一人ひとりの健康状態が把握されています。</li> <li>・ 感染症が発症したときは、すみやかに各クラス及び玄関に掲示して、保護者への周知を図っています。</li> <li>・ 感染症についての予防法や対処法についてのプリントを配布し、保護者から喜ばれたことがあります。</li> </ul>




<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生管理に関するマニュアルがあります。</li> <li>・ 清掃については、全職員による清掃当番表が作成されており、全員で園内の清掃を実施しています。清掃当番表は、職員掲示板に掲示されています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理に関するマニュアルがあります。</li> <li>・ 新任職員には、本部の新人研修の一環として、消防署主催の救命救急法の受講を義務付けています。</li> <li>・ 災害についての対応は、毎月の避難訓練に加え、171 災害用伝言ダイヤルによる訓練、及び総合引渡し訓練を保護者参加で実施するなど、積極的に取り組んでいます。</li> <li>・ ケガは大小にかかわらずヒヤリハット報告書に記入し、再発防止を心がけています。また、系列園での事故等を知ることができるインシデントレポートが本部から送付され、当園での事故防止にも役立てています。これらは職員会議でも報告されますが、直ちに職員掲示板に掲示して職員への周知を図っています。</li> <li>・ 不審者侵入に対する保護者の不安の声に配慮して、玄関ドアをオートロックにしました。また、各保育室には警報ペンダント(警備会社へ通報されます)や防犯ブザーが配置され、緊急の場合に備えています。</li> <li>・ 商店会へ加入し、回覧板による情報を得たり、市役所、市教育委員会からの防犯・不審者情報を得ることができるなど情報の収集に努めています。</li> </ul>
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人情報の取り扱い等について書かれたプライバシーポリシーを全職員に配布しており、職員は理解しています。また、プライバシーポリシーを玄関入り口の壁面に掲示して保護者へも公開しています。</li> <li>・ 本社のホームページや広報物等に子どもの姿を掲載する場合は、映像使用許諾書で保護者に確認しています。</li> <li>・ 個人情報に関する誓約書があり、実習生やボランティアにも提出してもらうようにしています。</li> <li>・ 虐待が疑われる場合には、各機関(児童相談所、市役所、横須賀子ども虐待予防相談センター、学校)と連携を取り合い、ネットワークミーティングを開催して問題を討議し、継続して見守る体制がとられています。</li> <li>・ 子どもとかわる上での行動規範集があり、職員は本部の研修を受け、日常の保育に活かすように努めています。</li> <li>・ 行動規範集には人権について書かれていますが、職員は、人権研修を受けたことはありません。今後の研修実施が望まれます。</li> </ul>

<p>- 4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人面談マニュアルがあります。</li> <li>・ 個人面談では、個人面談マニュアルと個人面談記録表を活用し、よりよい子育てを支援する仕組みがあります。</li> <li>・ 園舎内にはインターネットカメラが設置されており、保護者が園での子どもの様子をリアルタイムでいつでも見るできるようになっています。(利用できるのは、利用規約の承諾後、ID・パスワードの発行を受けた保護者のみです)</li> <li>・ クラス便りや園だよりを毎月発行しており、各クラスの様子や園からのお知らせなどの情報を提供しています。</li> <li>・ 年2回の保育参観に加え、保護者が希望すればいつでも保育参観を受け入れる体制があります。</li> <li>・ 保育参加の実績はありませんが、受け入れる体制はありますので、積極的な実施が望まれます。</li> <li>・ 保護者会組織は現在ありませんが、園は今後の検討課題としています。</li> </ul>
---	--




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の子育て支援課主催の研修会やネットワークミーティングに参加して市や児童相談所と連携しながら、子育て支援に取り組んでいます。</li> <li>・ 今後は、保育園の専門性を活かした育児支援・一時保育などの子育て支援サービスや、子育てに関する講習会の開催などが望まれます。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関・団体の連絡先一覧が、事務室と職員掲示板に掲示されており、職員は必要に応じてすぐに対応できるようになっています。</li> <li>・ 虐待の疑いがある場合の対応が、分かりやすい一覧表になっており、職員は適正な判断の指標とすることができます。</li> <li>・ 子育て相談の窓口があることを、ホームページで知らせています。</li> <li>・ 今後は、定期的な育児相談の日を設け、専門性を活かした相談対応が望まれます。</li> </ul>




評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちは、日々の散歩を通して商店街の人々と日常的に交流しています。</li> <li>・ 園は地元商店会に加入し、園長は商店会の会合へ地域の一員として出席しています。</li> <li>・ 地元中学校の職業体験実習の中学生を受け入れています。</li> <li>・ 地域の公園に散歩に行き、子どもたちはのびのびと遊んでいます。市立体育館では系列園との合同運動会を実施しています。また市立図書館で絵本を借りたりしています。</li> <li>・ 園の近くに市から花壇を借り、ポピー、コスモスの種をまいて育て、花のあるまちづくりに参加しています。</li> <li>・ 今後は、地域に向けての園施設の開放や備品等の貸し出しも検討されるように望みます。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部作成のホームページがあり、保育目標や危機管理、一日の保育の流れ等の情報を分かりやすく提供しています。</li> <li>・ 見学対応のマニュアルがあり、見学希望には常時対応しています。園長不在時の見学担当者3名が決まっています。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ボランティア受け入れ」「中学生の職業体験受け入れについて」「中学生の皆さんへ」というボランティアの受け入れマニュアルがあります。</li> <li>・ 実習生の受け入れマニュアルと受け入れる体制はありますが、受け入れ実績はありません。</li> <li>・ 実習生及びボランティアの受け入れは、保育姿勢や保育内容を見直すよい機会にもなります。今後は、積極的な受け入れが望まれます。</li> </ul>

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部作成の人材育成計画が充実しています。</li> <li>・ 新人職員研修とそのフォローアップ研修、および年間 10 回のテーマに基づく現任研修計画があり、正規職員・非常勤職員にかかわらず参加ができます。参加後はアンケートを取り、次回の研修に活かしています。</li> <li>・ 県や市主催の研修にも積極的に参加しています。</li> <li>・ 受講後は研修報告書を作成し、職員間で回覧して、研修内容を共有しています。実技研修の場合は、職員会議で実演や説明を行い実践につなげています。</li> <li>・ 職員は新卒、中堅、ベテランのバランスが取れた人材構成になっています。</li> <li>・ 職員は、ステップアップシートにより、目標の設定、達成度の評価を行って自らを振り返り、さらなる資質の向上に役立てています。</li> <li>・ 非常勤職員を含めた全職員に業務マニュアルである「保育ガイド」「就業管理ガイド」などを配布しています。</li> <li>・ 延長保育の時間帯には、常勤職員と非常勤職員を組み合わせ配置しています。</li> <li>・ 園長は、職員会議の内容を議事録で非常勤職員に周知し、機会を捉えてアドバイスや個別指導も実施しています。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の技術・スキルの向上の自己評価については、ステップアップシートで実践しています。</li> <li>・ 系列園との合同会議や保育環境研究会において、実践事例を学び、積極的に取り入れていく仕組みがあります。</li> <li>・ 元公立保育園長や本部のスーパーバイザー等、外部からのアドバイスを受ける仕組みがあります。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の役割や期待水準が「管理運営規程」に明記されています。</li> <li>・ 権限委譲と責任を明確化するために、諸行事や業務に担当制をとり、「分担表」が作成されています。</li> <li>・ 業務改善の提案制度として、職員にアンケートを行い、施設づくりに活かしています。</li> <li>・ 毎年職員が、ステップアップシートに今後の希望などを記入し、それをもとに園長が面接を行っており職員の満足度や要望を把握できるようになっています。</li> </ul>

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 服務規程には、保育士としての姿勢が明示され、新任研修ではビジネスマナー研修も行っています。</li> <li>・ 保育士としての行動規範が文書に示されています。</li> <li>・ ごみの分別、職員が行うだけでなく、子どもにも声かけをして環境に対する意識の芽生えを育てています。</li> <li>・ グリーン製品の購入や、裏紙、廃材等の利用取り組みはありますが、園の方針や目標の中には、環境配慮についての位置づけが弱いようですので、今後はより一層の配慮がなされますように望みます。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理念や方針は、ホール入り口(玄関)と職員掲示板に掲示されており、職員には日々の仕事の中で周知されています。</li> <li>・ 年1回の園長面接で、職員はステップアップシートの自己評価のチェックを実施し、理念や方針についても確認しています。新任研修でも内容の周知が図られています。</li> <li>・ 主任業務は現在、園長が兼任しています。</li> <li>・ 主任の計画的育成プログラムの作成はこれからの課題としています。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報の収集は、本部からの情報やメディア、研修会から収集しています。</li> <li>・ 本部主導で作成された中長期計画があります。次代の組織運営に備えた仕組みやSWOT分析(内部資源や外部環境分析)は、「事業計画」として作成しています。</li> <li>・ 園長は、諸経験や実務ノウハウを、次の世代の人材育成を考慮したものと位置づけて指導しています。</li> <li>・ 外部の専門家等の意見を取り入れています。</li> </ul>

## 利用者家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2005年11月12日～12月23日
- 2、実施方法 事業者から直接利用者家族に手渡し
- 3、回収率 約63.3%（60枚配付、38枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児...3人、1歳児...7人、2歳児...5人、3歳児...9人、4歳児...6人、5歳児...7人  
ただし複数名が在籍の場合には下の児童のクラス。

結果の特徴（ 数値は「満足」「どちらかといえば満足」を合わせたもの。以下同様。）

- ◇ **保育園の保育目標や保育方針**を知っている保護者は69%ですが、その中で保育目標や保育方針に賛同できると答えた保護者は71%です。
- ◇ **入園するときの対応**については、ほとんどの項目で85%以上の満足です。特に95%の保護者が満足と答えた項目は、入学前の情報提供・見学の受け入れ・入園時の面接についてです。
- ◇ **保育園の年間計画についての説明**については89%が満足していますが、年間計画に保護者の要望が活かされているかについては19%が不満と感じています。
- ◇ **日常の保育「遊び」**については、ほとんどの項目で満足（80%以上）と答えており、特に遊びを通じた友だちや保育士との関わりについては92%が満足しています。おもちゃや教材についてや園での遊びについても87%が満足しています。しかし、健康づくりへの取り組みについては18%が不満と答えています。
- ◇ **日常の保育「生活」**については、90%の保護者が給食のメニューに満足し、子どもが給食を楽しんでいると答えています。ケガの説明やその後の対応については90%が満足しており、些細なことでも報告してくれるという言葉が自由記述の中にいくつも見ることができ、安心している様子が伺えます。
- ◇ **保育園の快適さや安全対策**では、衛生管理や感染症対策について82%の満足です。園舎や園庭などの施設については40%の不満があります。これはビルの一部を使用している現状ではやむをえないと思われます。また、外部からの不審者侵入対策については、24%の不満がありますが、園では本年1月から電子錠の使用で対応しています。
- ◇ **園と保護者との連携・交流**については、全項目が80%以上の満足となっています。中でも残業などで遅くなる場合の対応についてと、園だよりや掲示による情報の提供については95%の満足となっています。
- ◇ **職員の対応**について、保護者は、子どもたちが保育園生活を楽しんでおり（95%）、大切にされていると感じています（90%）。不満や要望を気軽に言えないという人が16%いますが、記入欄には感謝の言葉が多く見られます。
- ◇ **総合的**には、保護者はほぼ満足しています。（満足が55%、どちらかといえば満足が32%）自由記入欄には、園長や職員の対応のよさに感謝しているという意見が多かった反面、直接保護者が意見を言える場がない、子どもをもっと外に連れて行ってほしいなどの意見がありました。

### 満足度の高かった点

- ◇ 満足（満足＋どちらかといえば満足）が90%以上の項目は、「残業で遅くなる場合の対応」「入学前の情報提供」「見学の受け入れ」「入園時の面接」「園便りや掲示による園の様子や行事に関する情報の提供」「お子さんが保育生活を楽しんでいる」「遊びを通じた友達や保育士とのかかわり」「給食のメニュー」「お子さんが給食を楽しんでいる」「お子さんの体調への気配り」となっています。

### 満足度のやや低かった点

- ◇ 不満（不満＋どちらかといえば不満）が15%以上の項目は、「園庭などの施設40%」「外部からの不審者侵入に対する備え24%」「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気21%」「費用やきまりに関する説明18%」「保育や行事に保護者の要望が活かされている18%」「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動16%」「オムツはずしへの取り組み16%」「送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明16%」「不満や要望を気軽にいえる16%」となっています。

## 利用者家族アンケート集計結果

実施期間： 2005年 11月12日～12月23日

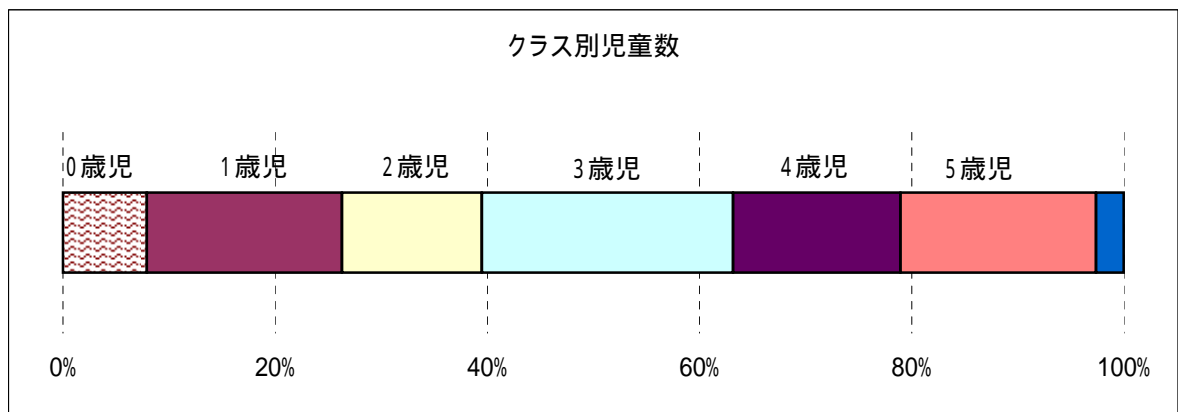
回収率： 63.3% （回収38枚 / 配付60枚）

### 【属性】

#### クラス別児童数

複数在籍の場合は、下の子どものクラスで記入

合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	無回答
38	3	7	5	9	6	7	1



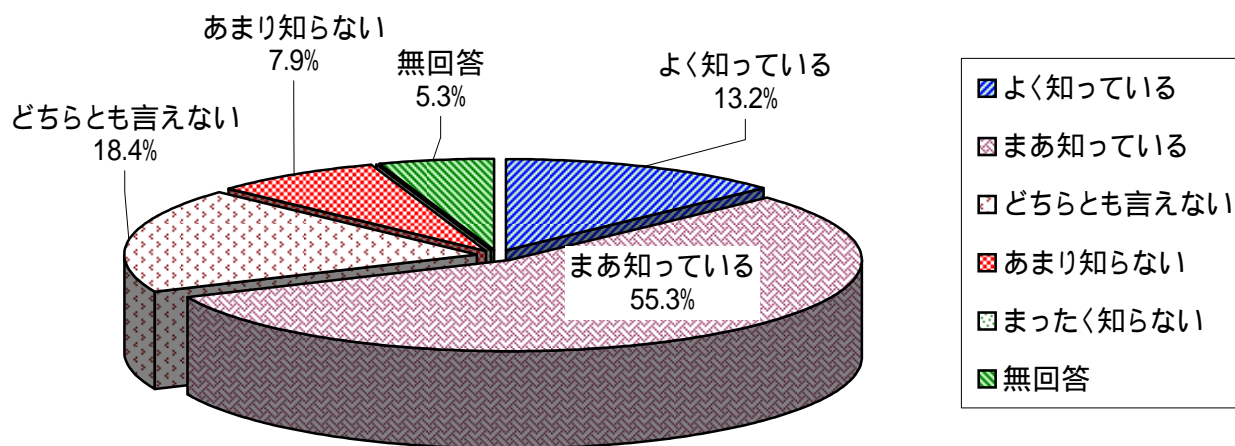
## 保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	13.2	55.3	18.4	7.9	0.0	5.3	100

### 保育園の保育目標・保育方針を知っていますか



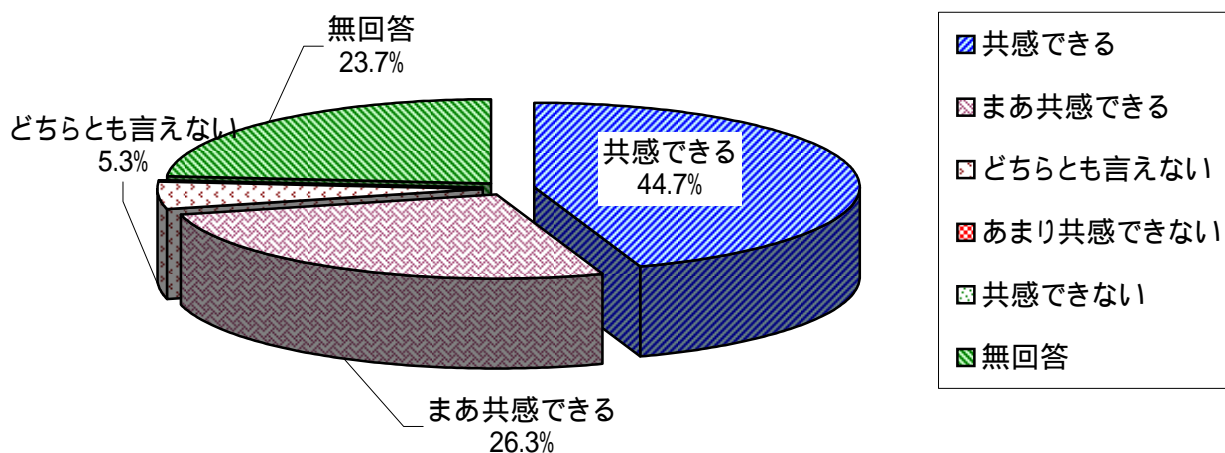
「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	共感できる	まあ共感できる	どちらとも言えない	あまり共感できない	共感できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	44.7	26.3	5.3	0.0	0.0	23.7	100

### 保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか



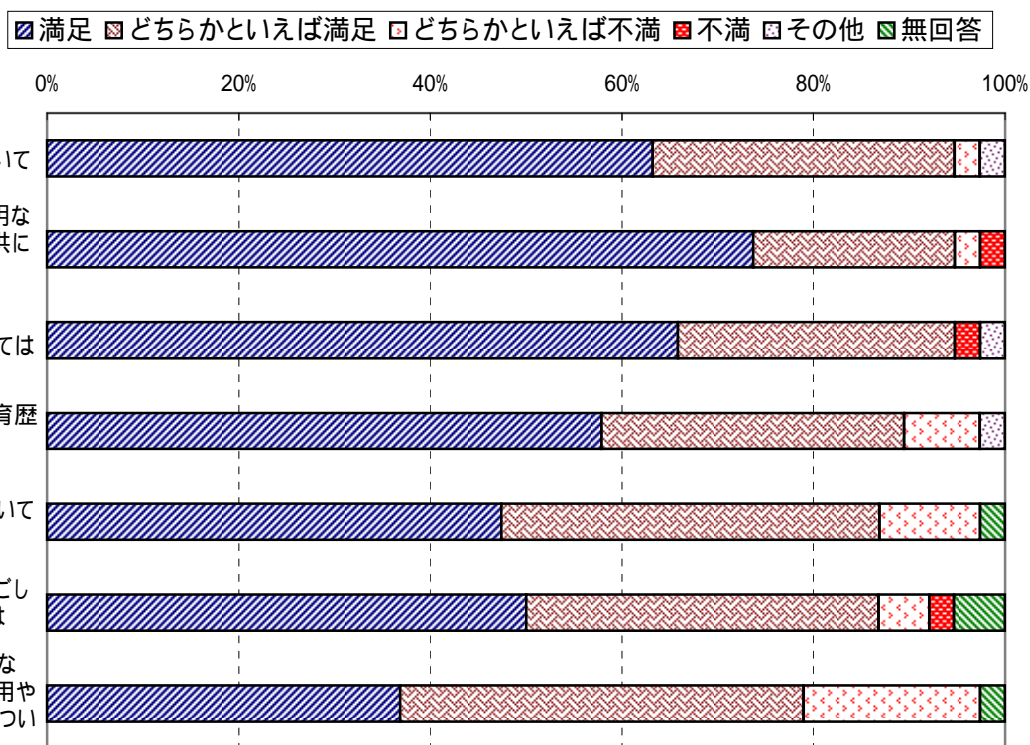
# 保育園のサービス内容について

## 問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	63.2	31.5	2.6	0.0	2.6	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	73.7	21.1	2.6	2.6	0.0	0.0	100
入園時の面接については	65.8	28.9	0.0	2.6	2.6	0.0	100
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	57.9	31.6	7.9	0.0	2.6	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	47.4	39.5	10.5	0.0	0.0	2.6	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	50.0	36.8	5.3	2.6	0.0	5.3	100
入園後に食い違いがなかったなども含め、費用やきまりに関する説明については	36.8	42.1	18.4	0.0	0.0	2.6	100

### 入園時の状況について

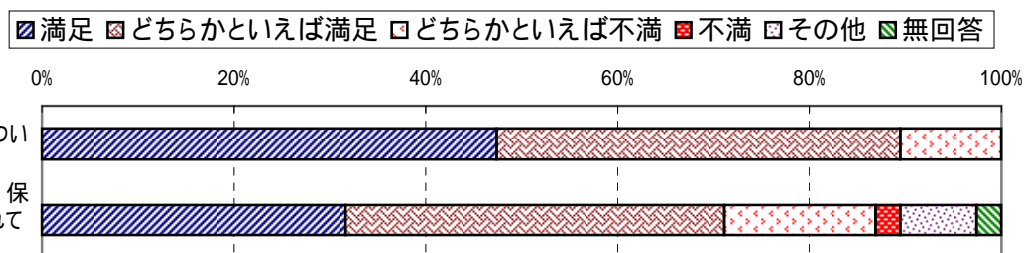


## 問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	47.4	42.1	10.5	0.0	0.0	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	31.6	39.5	15.8	2.6	7.9	2.6	100

### 年間の保計画について

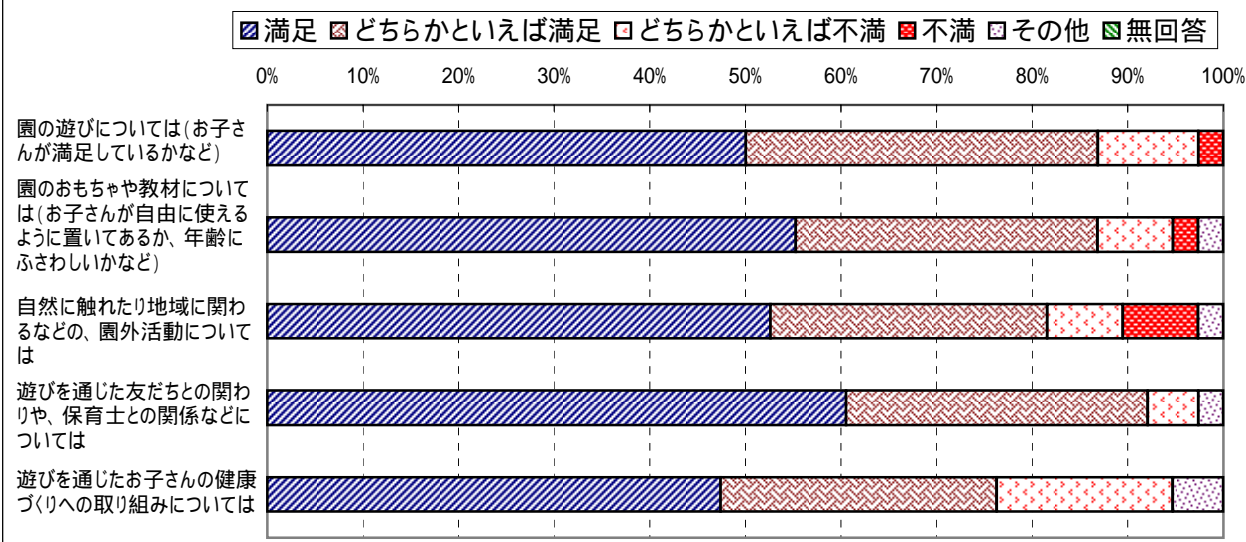


## 問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園の遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	50.0	36.8	10.5	2.6	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	55.3	31.6	7.9	2.6	2.6	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	52.6	29.0	7.9	7.9	2.6	0.0	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	60.5	31.6	5.3	0.0	2.6	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	47.4	28.9	18.4	0.0	5.3	0.0	100

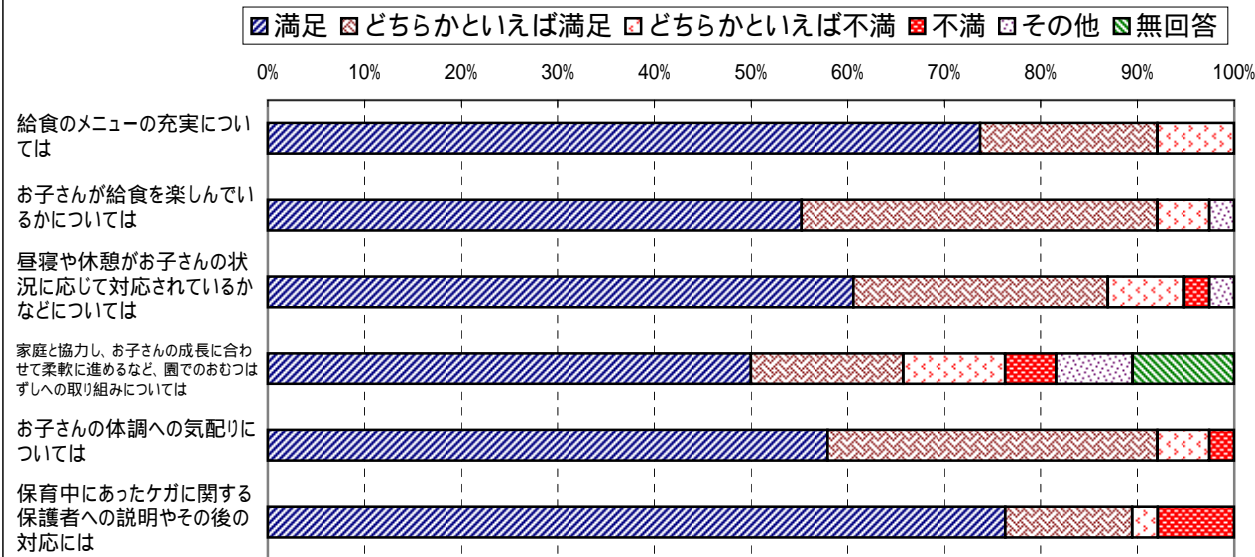
### 日常の保育内容「遊び」について



(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食のメニューの充実については	73.7	18.4	7.9	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	55.3	36.8	5.3	0.0	2.6	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	60.6	26.3	7.9	2.6	2.6	0.0	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	50.0	15.8	10.5	5.3	7.9	10.5	100
お子さんの体調への気配りについては	57.9	34.2	5.3	2.6	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	76.3	13.2	2.6	7.9	0.0	0.0	100

### 日常の保育内容「生活」について



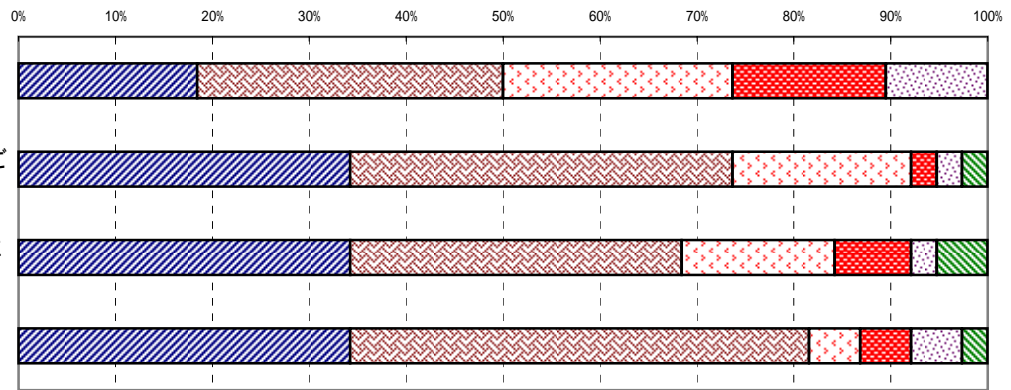
## 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園舎、園庭などの施設については	18.4	31.6	23.7	15.8	10.5	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	34.2	39.5	18.4	2.6	2.6	2.6	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	34.2	34.2	15.8	7.9	2.6	5.3	100
衛生管理や感染症対策については	34.2	47.4	5.3	5.3	5.3	2.6	100

### 快適さや安全対策について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



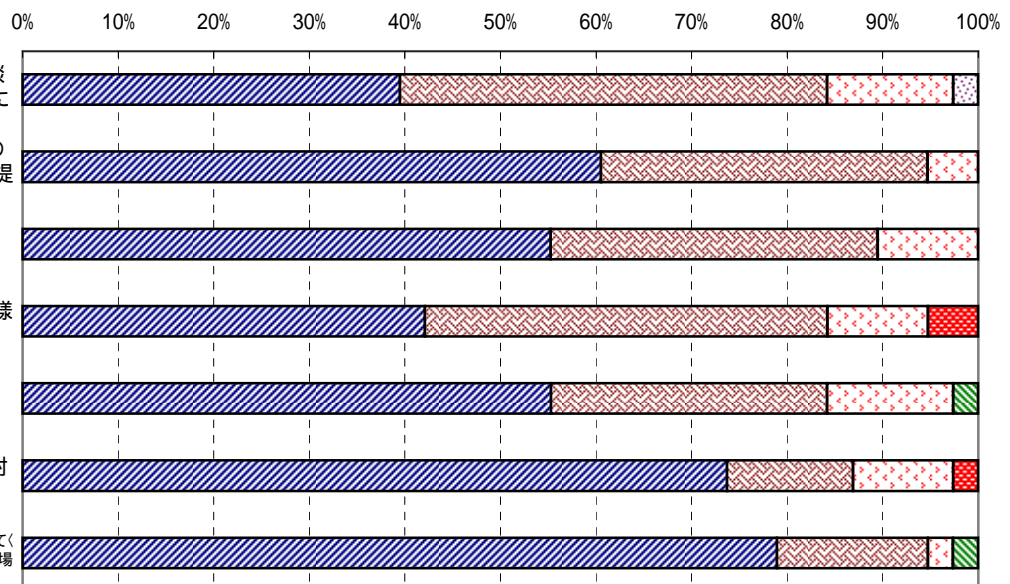
## 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	39.5	44.7	13.2	0.0	2.6	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	60.5	34.2	5.3	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	55.3	34.2	10.5	0.0	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	42.1	42.1	10.5	5.3	0.0	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	55.3	28.9	13.2	0.0	0.0	2.6	100
保護者からの相談事への対応には	73.7	13.2	10.5	2.6	0.0	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	79.0	15.8	2.6	0.0	0.0	2.6	100

### 園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



## 問7 職員の対応について

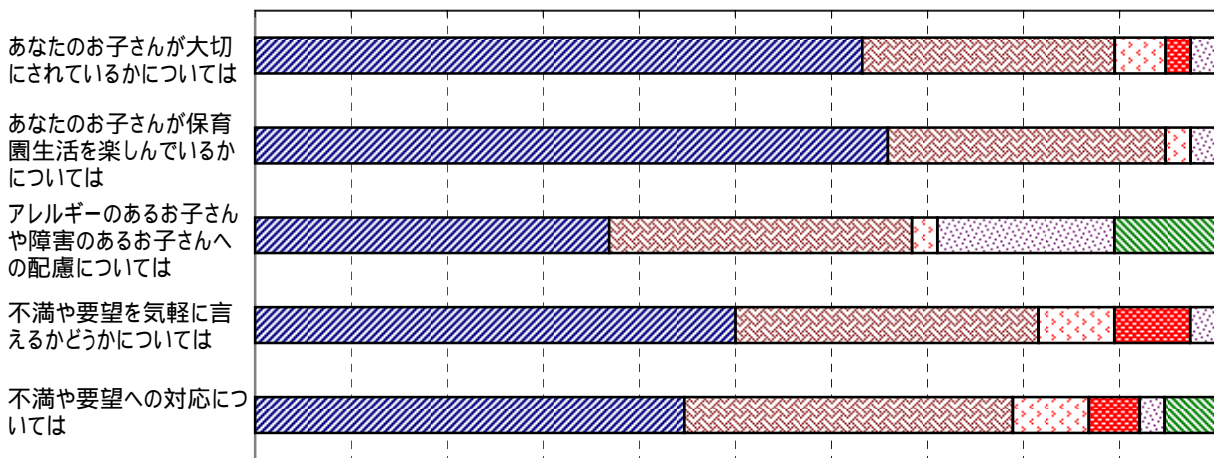
(%)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	63.2	26.3	5.3	2.6	2.6	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	65.8	28.9	2.6	0.0	2.6	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	36.8	31.6	2.6	0.0	18.4	10.5	100
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	50.0	31.6	7.9	7.9	2.6	0.0	100
不満や要望への対応については	44.7	34.2	7.9	5.3	2.6	5.3	100

### 職員の対応について

■満足 ■どちらかといえ  
ば満足 □どちらかといえ  
ば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

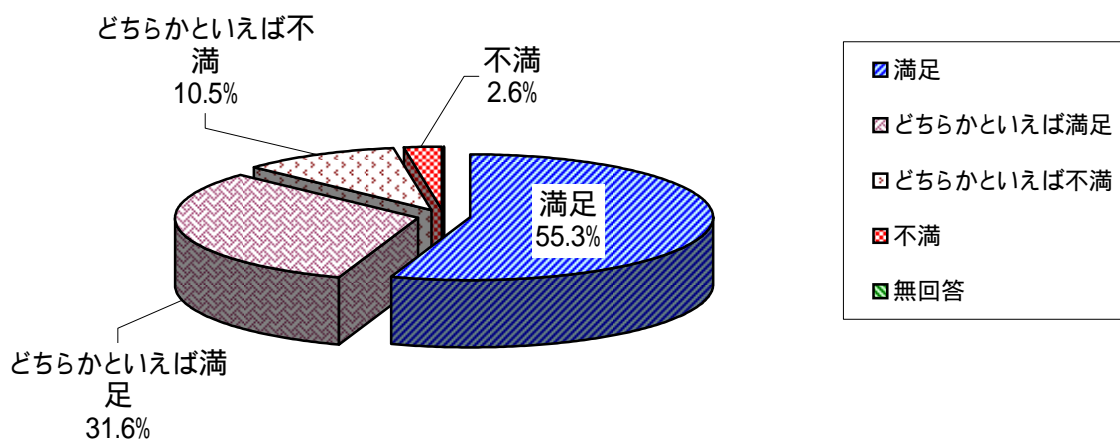


## 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	55.3	31.6	10.5	2.6	0.0	100

### 総合満足度



## 利用者本人調査 分析

観察調査 2006年1月24日(火) 8:30~17:20 2月2日(木) 8:30~11:30

聞き取り調査 2006年1月24日(火) 13:00~13:45

満5歳児、6歳児の計9名を2グループに分けてホールで実施

### 1. 遊びについて

#### 観察調査

- ・0、1歳児は、保育士に抱かれたりおんぶされて安心している様子です。遊びコーナーでおもちゃで遊んだり、紙芝居を見たり、手作りの棒落としなどのおもちゃで遊んだりしています。
- ・1、2歳児は、絵本が好きな子が多く、保育士が読む絵本に見入っていました。積み木で遊ぶ子どももいました。
- ・3、4、5歳児は、ブロック、ままごと、絵本などの各遊びコーナーで遊んだり、お絵かきや折り紙、あやとりなどで遊んでいます。5歳男児は、新聞紙や広告紙を使って刀を作って遊んだり、年少の子どもに作ってあげたりしていました。

#### 聞き取り調査

- ・保育園での遊びは楽しいと答え、好きな遊びは、黄ブロック、ままごと、積み木、折り紙、お絵かきなどと答えました。

### 2. 食事について

#### 観察調査

- ・0歳児には、調乳チェックリストがあります。食事は無理強いされず、おかわりをする子どももいます。
- ・2歳児は「いただきます」の挨拶で一斉に食べ始めます。早く食べ終わる子どもやゆっくり食べる子どももいます。野菜を残す子どもが多く見られました。
- ・3、4、5歳児も「いただきます」の挨拶をして食べ始めます。友達同士おしゃべりしながら楽しそうに食べていました。ゆでブロッコリーが食べ難いと残す子どもが数人いました。
- ・幼児クラスでは、食事に集中できずうろろする子どももいて、残食が多いようでした。また、食後のごちそうさまのあいさつは、する子どもとしない子どもがいました。

#### 聞き取り調査

- ・給食はおいしいし、おかわりもすると全員が答えました。
- ・嫌いなものは、ピーマン、にんじん、コーン等で、どうしても食べられない場合は先生に言って残すことができる。嫌いなものでもがんばって食べると答えました。

### 3. 排泄について

#### 観察調査

- ・0、1歳児のオムツの子どもは、保育士が順番でオムツ替えをしていました。また、保育士の言葉かけでオマルに座る練習をしたり、すでにオマルでできるようになった子ども等、オムツはずし訓練中の子どもがいました。
- ・2、3、4、5歳児は、保育士の言葉かけでトイレに行きました。幼児組は、先生に言ってトイレに行く子どももいました。トイレから出ると全員が手を洗いました。

#### 聞き取り調査

- ・トイレに行く時は、保育士に「トイレ」と言ってから行く。女の子のトイレが3つしかないので混み合う場合は「ダメ」と言われることがあると答えました。
- ・トイレにはドアが無くて代わりに衝立があるけれど、覗かれることがあるのでドアの方が良いと女の子が

答えました。

- ・4月からは小学生になるので自分で拭く練習をしている。できない時は先生が拭いてくれると答えました。

#### 4. 清潔・健康について

##### 観察調査

- ・子どもたちは、トイレの後や食事の前には必ず手を洗っています。
- ・食後の歯磨きは、当番の保育士が洗い場に待機していて子どもたちの様子を見ながら助言しています。
- ・食事のテーブルは、消毒薬を含ませた台ふきんで拭いています。

##### 聞き取り調査

- ・服が汚れたら自分で着替える。汗は自分で拭く。汚れがひどい時はシャワーを浴びると答えました。
- ・具合が悪くなった場合は先生が家族へ連絡してくれる。お迎えが来てくれるまで園で寝て待っている。ケガはあまりしたことが無い。ケガをしたら先生が消毒してくれ、絆創膏を貼ってくれるなどやさしくされると答えました。

#### 5. いやな思いへの対応や権利を守ることについて

##### 観察調査

- ・1、2歳児の中にたたいたりする子どもがいましたが、保育士が止めていました。幼児組では、嫌なことをされて泣いて保育士に訴える子どもがいました。

##### 聞き取り調査

- ・シールの取り合いでけんかになることがある。けんかをしたら友だちに「ダメでしょ」と言われる。せーので「ごめんね」と言って仲直りする。「仲よしだからけんかするんだよ、パパやママもそうだよ」と答えていました。
- ・悲しいとき、先生が話を聞いてくれる。名前を呼ぶときは、ちゃん、君付けで呼ばれると答えました。

#### 6. 職員について

##### 観察調査

- ・保育士は、子どもたちの自由な遊びを見守り、保育士同士は、声を掛け合い連携を取り合っていました。
- ・散歩では、信号を渡るとき等に保育士が適切な誘導をし、安全に往復することができました。
- ・絵本の読み聞かせや手遊びが始まると、それまで思い思いに遊んでいた子どもたちが一斉に保育士の方に集中していました。

##### 聞き取り調査

- ・先生はやさしい。先生とは仲良し。でも怒ると怖い。おやつのときに走り回っていると「こらーっ」と言われることがあると答えました。
- ・園長先生と遊んだことがある、園長先生はやさしい。でも怒ると一番怖いと答えました。
- ・避難訓練のときは、先生が助けてくれる。

#### まとめ

調査1日目の午前中は全員参加のお誕生日会で、保育士による劇を楽しみ、園長のギター伴奏による歌を元気よく歌っていました。しかし、特別な日とあって、子どもたちはやや落ち着きに欠けていたように見受けられました。聞き取り調査では、話の途中でウロウロする子どももいました。

2日目は天気が良く、ほとんどの子どもたちは散歩に出かけました。子どもたちは公園で、思いっきり走り回ることができ満足そうでした。園に戻ってからの自由遊びも活発に行われ、子ども同士の関わり方にも落ち着きが見られました。

## 事業者意見

株式会社サクセスアカデミー

にじいる保育園サクセス久里浜コスモス

今回、第三者評価を受審した事による一番大きな収穫は、日々の保育を見つめ直せたことです。評価の視点が分かりやすく項目別になっており、職員間でも皆が一つひとつの項目に関して、どのような意識を持っているかを再認識することができるのと同時に共有することができました。また、不足部分を改善する方法を考える過程で、保育に関する多くの情報を吸収する事ができました。

今回の結果により、園運営で認識が不足していた点や強化すべき点がよりはっきりし、今後目指すべき道標が明確になりました。

また、園にとっても、会社にとっても初めてである第三者評価受審に対して、園長・職員だけでなく、本部スタッフ、系列園の園長までも、共通の目的意識を持って取り組めた点は大きな収穫でした。

今後は評価内容での問題点、御提言を真摯に受け止め、これ迄以上に地域の中で必要とされる保育園をめざし、本部スタッフ、保育園職員が力を併せ取り組んで参ります。

<本部より>

今回第三者評価を受審したことは、本部にとっても保育園のあるべき姿を再確認する貴重な機会となりました。様々な地域で、地域と共に育っていきたいと願い園を運営しておりますが、今回のコスモスの受審結果を他のにじいる保育園5園の運営に反映させ、各園がさらなる向上を目指せるような指導・支援に努め、どの地域においても、子ども達、保護者様、地域の皆様にとって陽だまりのように暖かな保育園であるよう、質の高い保育サービスの提供に努めて参ります。